



水生生物を調査する久門田さん

第55回テーマ： 六甲山の水生生物調査

講演内容

- ①未知のフィールド
“2ツ池”の魅力
- ②“2ツ池と周辺の生物”
- ③今後の調査計画と
池のあり方を探る

実施日：平成19年10月16日（土）

午後1時～3時45分

場 所：六甲山自然保護センター

レクチャールーム



講師：久門田 ^{くもんだ} ^{みつる} 充さん
プロフィール

1958年生まれ、49歳、大阪府吹田市出身。神戸市男性保育士第1号。週末は、海から溪流まで魚釣りや昆虫採集に明け暮れる。神戸市小動物研究会、日本自然保護協会自然観察指導員、神戸市青少年科学館講師。

市民セミナーなどの活動をパネル展示

前日の雨とは一転した快晴です。午前中の景観整備活動などには9名が参加しました。作業班は笹刈りや測量調査の準備作業をしました。

11月の閉館までレクチャールームに当会の5年間の活動を紹介します。市民セミナーや各種イベントのパネル壁面に貼り付けました。



レクチャールームのパネル展示

保育と自然がライフワークの久門田さん

講師の久門田さんは神戸市の男性保育士第1号になった方です。「五感を取り入れた保育」をテーマに、自然に触れ合う直接体験に注力されています。

魚釣りと昆虫採集が趣味で、余暇時間のほとんどをつぎ込まれているとのこと。

2ツ池との出会いは、かつて当会の冬のイベントに参加された際で、2ツ池のたたずまいや下部の沢筋で発見したツララの美しさに魅せられたことです。以来、「ロマン」に駆り立てられたとのこと。



ハート型に溶けた2ツ池の水

半年間の地道な調査

記念碑台からすぐ近くの2ツ池には手が加わっていない自然が残り、様々な生物の営みが密やかに繰り返

らげられています。探究心旺盛な久門田さんは、今年4月から9月までの半年間、熱心に水生生物の生息調査や周辺環境の調査にも携わってこられました。

この地域を調査することが、六甲山全体の生態系やその変化の道程を探るモデルの一つになると考えておられます。今回はその中間報告をしていただきました。

久門田さんの活動を精一杯支えたい

当会では「六甲山環境整備協議会」を設立に加わり、2ツ池周辺を含む自然環境の保全と整備に取り組んでいます。そして、地域全体の環境や生物の生態を調査することを基盤にして、環境保全や自然再生を考えていこうとしています。久門田さんが取り組まれている調査はその柱となる重要なものです。久門田さんと一緒に活動を進めていきたいと思います。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 渡邊 富章 さん

当日は紅葉には早いが、季節の変化を感じながら六甲山に登ってきました。セミナーが始まる前に久門田講師と2ツ池に同行させていただいたこともあって、午後のセミナーでの調査報告を聞く際には池と水生生物の営みを想像しました。頭の中には謎と疑問点も湧き出てきました。これを解くことが、私にとっては講師の言う「男のロマン」かな、と思いました。自然との対話が少しできたようで良い薬になりました。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会
協力：兵庫県立人と自然の博物館
後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】
コベルコ環境保全基金、セブン-イレブンみどりの基金
ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金